ユーザーマニュアル

Elo Touch Solutions

3200L 32型 インタラクティブ デジタルサイネージ タッチモニター

4200L 42型 インタラクティブ デジタルサイネージ タッチモニター

4600L 46型 インタラクティブ デジタルサイネージ タッチモニター

5500L 55型 インタラクティブ デジタルサイネージ タッチモニター

インタラクティブ デジタルサイネージ コンピュータモジュールー

SW601194 改訂E版

Copyright © 2012 Elo Touch Solutions, Inc. 無断複写· 転載を禁じます。

事前にElo Touch Solutions, Inc.社の許可書を取得しないで、本書のいかなる部分を電子、磁気、光学、化学、手動などで複製、送信、転写、情報検索システムに記録、あるいはいかなる言語あるいはコンピューター言語などへの翻訳などは、いかなる形態あるいはいかなる方法でも禁止されています（但し、必ずしもこれらに限定されません）。

責任放棄声明

この文書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。Elo Touch Solutions, Inc. 及びその関連会社（まとめて、「Elo」と呼ぶ）では本書の内容に関して明言あるいは保証、特に、特定目的の暗黙の商品性あるいは適切性の保証はしません。TE は時折本書記載内容を改訂あるいは変更する権利を有しており、その際、TE はそのような改定あるいは変更に関する通知をする責任はありません。

登録商標承認

AccuTouch、CarrollTouch、Elo（ロゴ）、Elo Touch Solutions、Elo TouchSystems、IntelliTouch、iTouchはElo およびその関連会社の商標です。WindowsはMicrosoft Corporationの商標です。

もくじ

第1章 – はじめに 4

第2章 – 開梱 5

第3章 – タッチモニターのインストール 7

第3章 – コンピュータモジュールのインストール 11

第5章 – 取り付け 18

第6章 – 操作 20

第7章 – 技術サポート 26

第8章 – 安全&保守 28

第9章 – 規制情報 36

第10章 – 保証 38

第1章 – はじめに

製品説明

お買い上げのインタラクティブ デジタルサイネージ タッチモニターはEloタッチソリューションの信頼できる性能と、タッチスクリーン技術とディスプレイデザインの最新開発をあわせたものです。このような機能を組み合わせることによってユーザーとタッチモニター間で情報が自然に流れるようになります。

本タッチモニターは24ビットカラー、アクティブマトリックス薄膜トランジスタ、デジタルサイネージLCDパネルを組み込み、優れたディスプレー性能をご提供しています。フルHD解像度1920x1080は画像や映像の表示に適しています（32型モデルの解像度は1366x768）。LCDモニタの性能を強化するその他の機能としてプラグ&プレーの互換性、内蔵スピーカーとヘッドホンの出力能力、オンスクリーン表示（OSD）制御、デジタルサイネージ コンピュータモジュール群があります。

コンピュータモジュールはモニタ裏面のベイにスライドするように設計されており、モニタのフォームファクターに影響したり余聞にケーブルを必要としたり､インタラクティブ デジタルサイネージTouchMonitorをインタラクティブ デジタルサイネージ オールインワンTouchComputerに変えたりする必要がありません。

注意事項

装置をより長く使用してユーザーの安全性に関する危険を防止するため、本取扱説明書の全ての警告、注意、保守手順を遵守してください。タッチモニターの安全性については第8章を参照してください。

健康や安全のために、タッチモニターを持ち上げたり移動する際には少なくても2名以上で取り行うように強くお勧めします。扱いやすくするために装置の裏面に取っ手がありますので、ご利用ください。

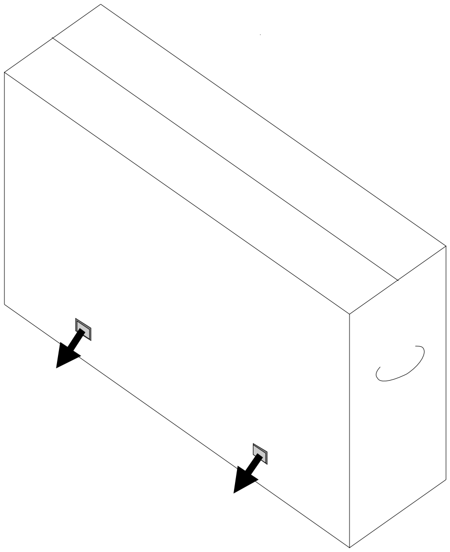
本説明書にはインタラクティブ デジタルサイネージ タッチモニタとコンピュータモジュール（任意）の適切なセットアップと保守に関する大切な情報が記載されていますので、特に、インストール、取り付け、操作の章を注意してお読みになってから、タッチモニタとコンピュータモジュールをセットアップして電源を入れてください。

第2章 – 開梱

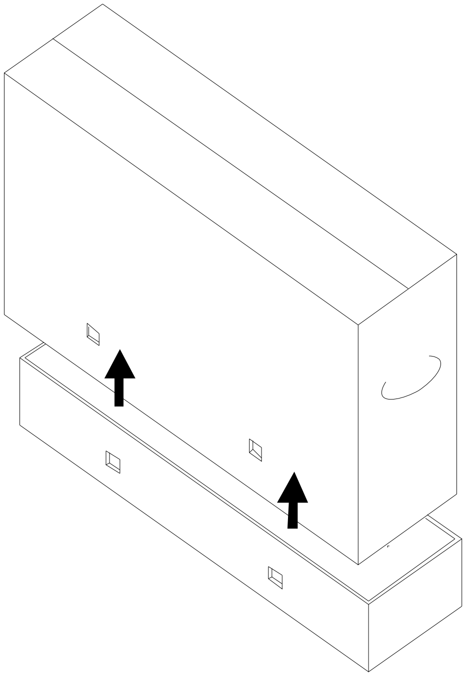
タッチモニターの開梱

タッチモニターを開梱する際には、次のステップに従ってください。

1. 箱はラベルに従って正しい方向に置くようにしてください。プラスチック製のヒンジロックは「底面」に来るようにしてください。
2. 箱を開けて、プラスチック製のヒンジロック4個をすべて取り外してください。



3. ロックを外したら、箱の上ぶたを下枠から持ち上げて外します。



4. 上ぶたを取り外したら、タッチモニターと同梱の付属品にアクセスできます。

注記：健康や安全のために、タッチモニターを持ち上げたり移動する際には少なくても2名以上で取り行うように強くお勧めします。扱いやすくするために装置の裏面に取っ手がありますので、ご利用ください。

以下の品が揃っているか、良い状態であるかを確認してください。

- タッチモニター
- CD
  - TouchTools
  - ユーザーマニュアル
- クイックインストールガイド
- ケーブル
  - HDMI、VGA、USB、ヌルモデムシリアルケーブル、オーディオ、北米用ケーブル、欧州/韓国用電源、英国用電源、アルゼンチン用電源、台湾用電源、中国用電源、韓国用電源、日本用電源および日本用3ピン-2ピン変換アダプター
- ケーブルカバーを固定するためのネジ

デジタルサイネージ コンピュータモジュールの開梱

箱を開けます。

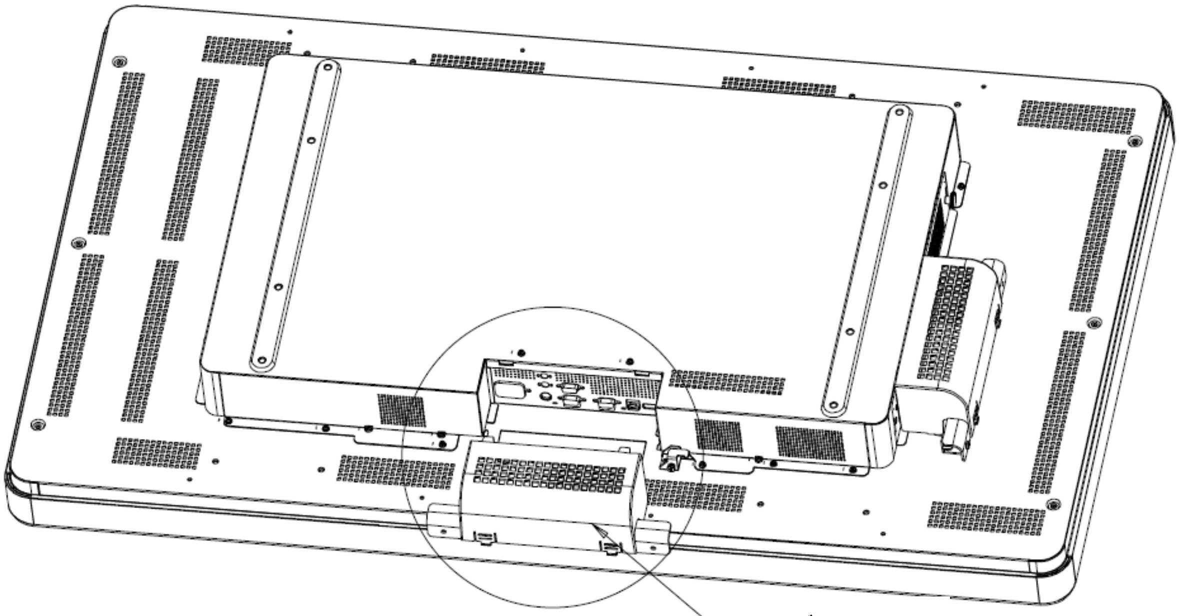
以下の品が揃っているか、良い状態であるかを確認してください。

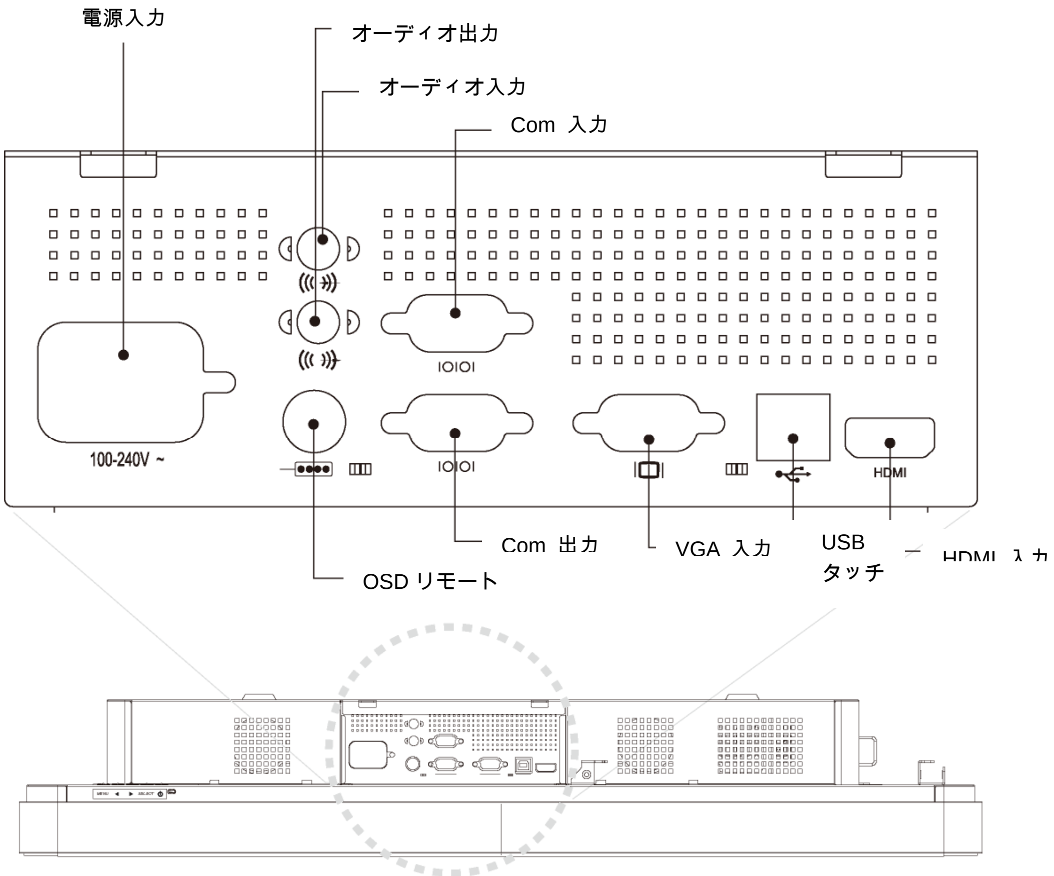
- デジタルサイネージ コンピュータモジュール
- クイックインストールガイド
- （該当する場合）Windowsリカバリーディスク

第3章 –タッチモニターインストール

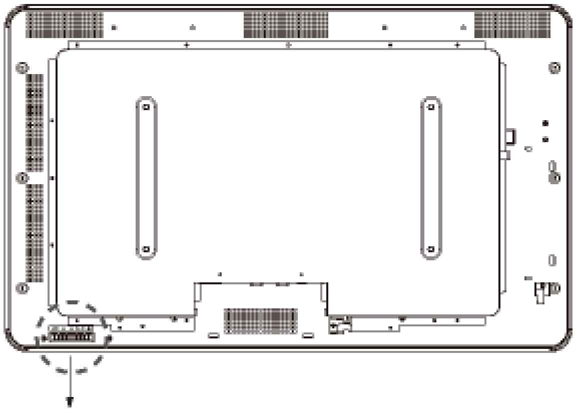
コネクターパネル & インターフェース

裏面底部（横方向から見た場合）のケーブルカバーを取り外して、タッチモニターのコネクターパネルにアクセスします。

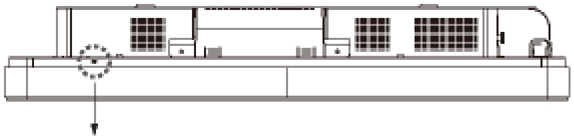




3200L

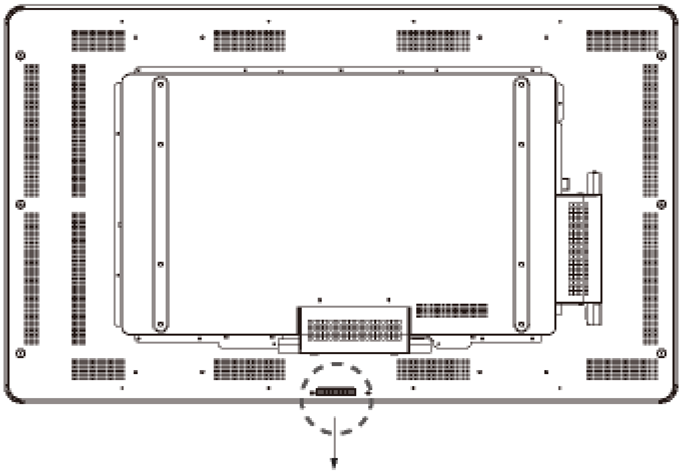


OSD/電源ボタン

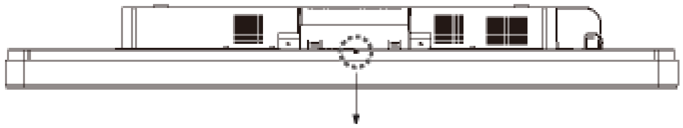


電源表示盤 LED

4200L / 4600L / 5500L



OSD/電源ボタン



電源表示盤 LED

タッチモニター接続

1. モニターのHDMI/VGA入力コネクタ間のHDMIおよび/あるいはVGAビデオケーブルをそれぞれのHDMI/VGAビデオ源に接続してください。ビデオケーブルのネジを締めて、最高の性能を発揮するようにしてください。
2. モニターのUSBケーブルとPCのUSBポート間をUSBタッチケーブルで接続してください。
3. モニターのオーディオ入力ジャックと音源をオーディオケーブルで接続します。
4. お住まいの地域に適切な電力ケーブルを選択します。AC電源とタッチモニターの電源入力コネクターを選択した電力ケーブルで接続します。
5. 必要に応じて、ケーブルカバーを交換します。
6. タッチモニターはオフ状態で出荷されます。電源ボタンを押して電源を入れます。

APR あるいは IntelliTouchタッチスクリーン技術ソフトウェアドライバのインストール

お持ちのコンピュータとIntelliTouch タッチモニターが作動するにはソフトウェアをインストールしなければならない場合があります。

注記：光学式タッチ タッチモニターにはソフトウェアのインストールが必要ありません。

Windows 7、XP、Vista、WePOS、および32ビットサーバー2003オペレーティングシステムのドライバはタッチモニターのCDに入っています。

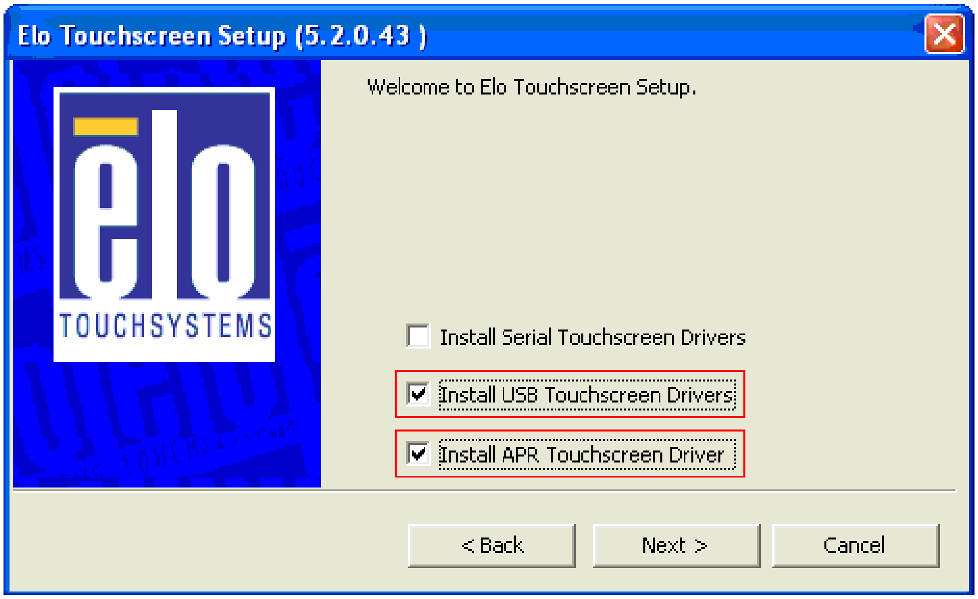
次の場合は、Elo Touch Solutionsウェブサイト www.elotouch.com をご覧ください。

- タッチドライバの最新バージョン
- タッチドライバの追加情報
- タッチドライバのインストール詳細ガイド
- その他のオペレーティングシステムのタッチドライバ

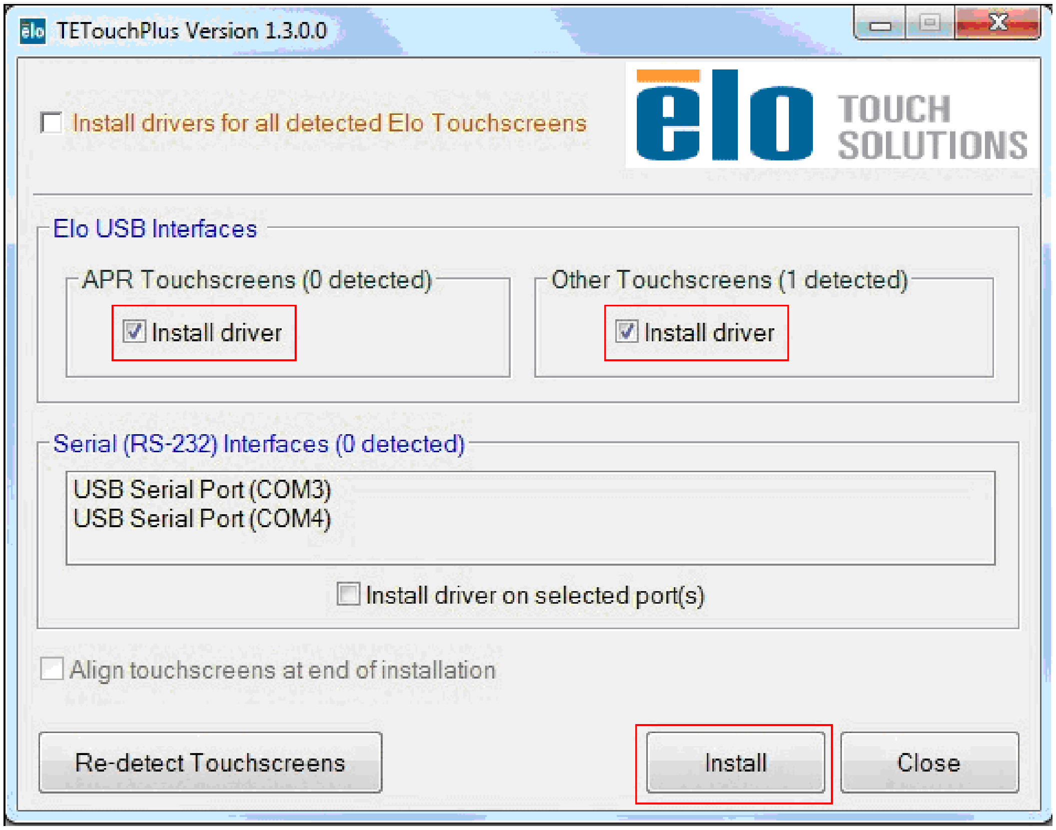
Elo TouchTools CDをコンピュータのCD-ROMドライブに挿入してください。CDはElo TouchToolsアプリケーションで自動的に実行されるはずです。「Install Driver for This computer（このコンピュータにドライバをインストールする）」を選択してください。

以下のような指示が表示されたら、「USB Touchscreen Drivers (USBタッチスクリーンドライバ)」と「APR (APRタッチスクリーンドライバ)」の両方をインストールします。

Windows XP、Vista、Server 2003、Server 2008、WEPOSをインストールする際のスクリーンショット：



Windows 7をインストールする際のスクリーンショット：



エンドユーザー用使用許諾契約書を承諾してから、ドライバのインストールを終了します。

インストールが完了したら、コンピューターを再起動します。

第4章 –

コンピュータモジュールのインストール

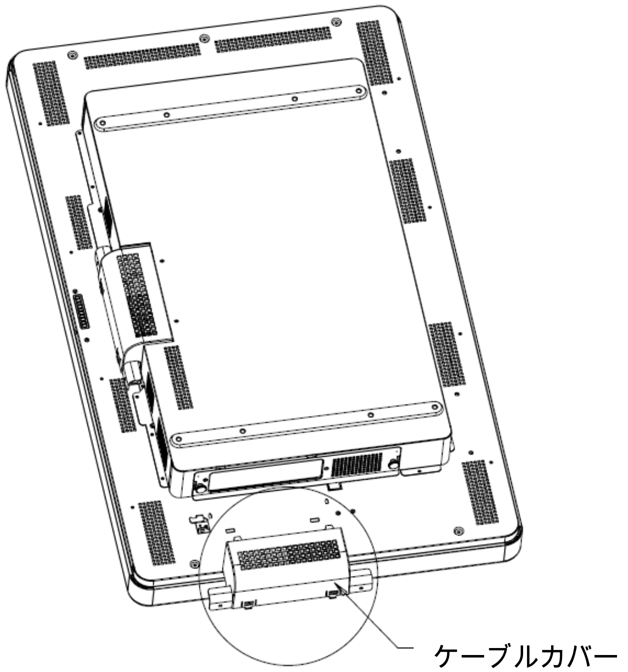
インストール

注記：

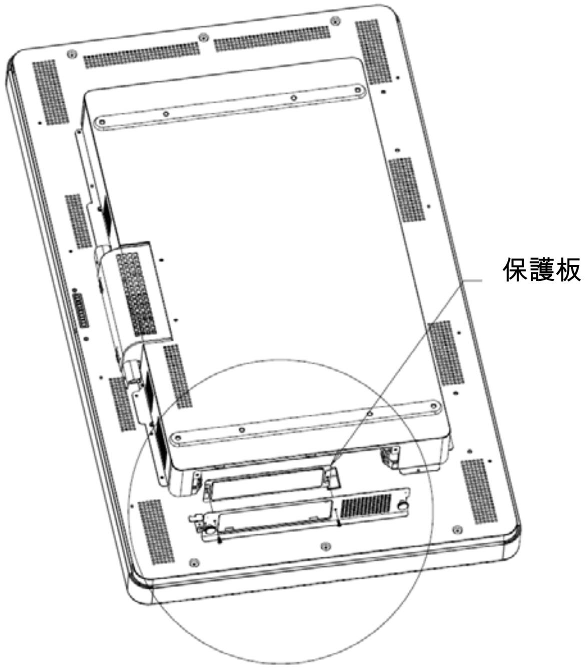
タッチモニターからAC電源を切断してからコンピュータモジュールをインストールしてください。AC電源が接続されているときにコンピュータモジュールをインストールすると、コンピュータモジュールを損傷してしまいます。

1. タッチモニターからAC電源を切断します。

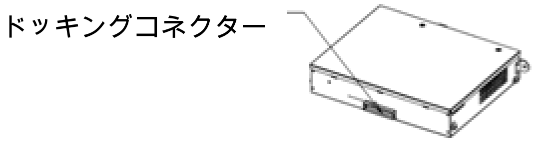
2. コンピュータモジュールのベイにアクセスするにはタッチモニターの側面のケーブルカバーを外します（横方向に見た場合）。



3. プラスドライバーを使ってコンピュータモジュールのベイの保護板を取り外します。

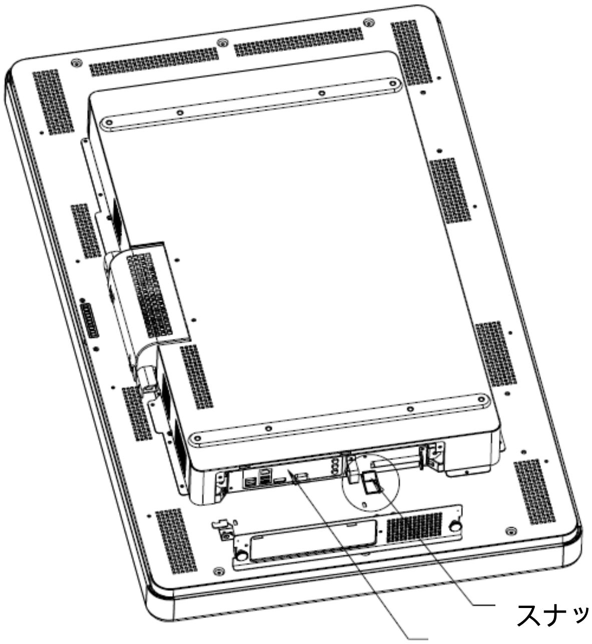


4. コンピュータモジュールのドッキングコネクターに、配送中にごみが蓄積されていないか確認し、必要な場合はそれを取り除きます。



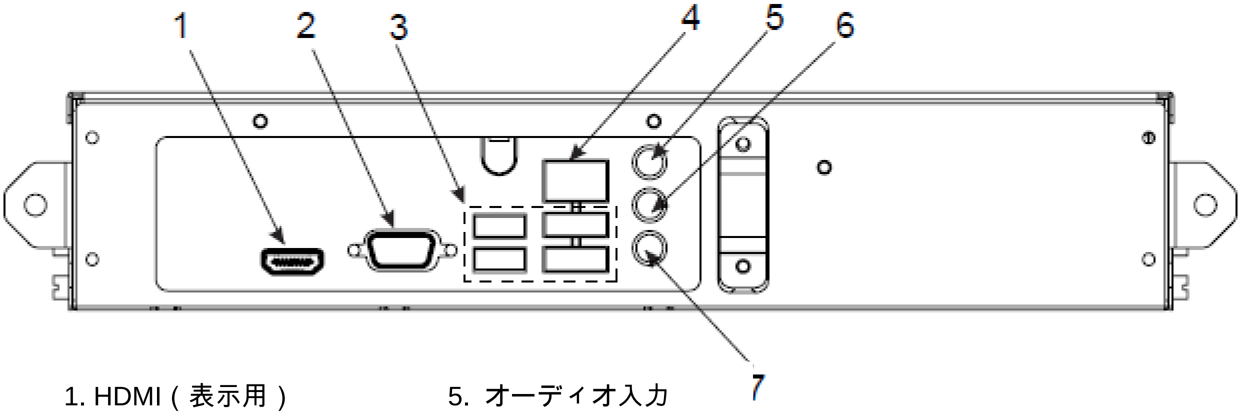
PCBOX 背面図

5. カチッという音がするまでコンピュータモジュールをベイにスライドします。



6. 保護板を交換し、コンピュータモジュールを機械で固定するまでつまみネジを締めます。

コネクターパネル&インターフェース



1. HDMI（表示用）
2. VGA
3. USB X 4
5. オーディオ入力
6. オーディオ出力
7. マイク

タッチモニター&コンピュータモジュールの接続

1. コンピュータモジュールをインストールしたら、タッチモニターの電源入力コネクターとAC電源をAC電力ケーブルで接続します。
2. コンピュータモジュールのコネクターパネルにご希望の接続をします。
3. タッチモニターの電源ボタンを4秒間押したままにしてコンピュータモジュールをオンにします。

注記：

Eloコンピュータモジュールをタッチモニターにインストールすると、タッチモニターのVGA & HDMIビデオとUSBタッチ機能が機能しなくなります。タッチモニターのビデオとタッチ機能はすべてコンピュータモジュールのドッキング接続で処理されます。

オペレーティングシステムのセットアップ

Windows® 7、Windows® XPオペレーティングシステム

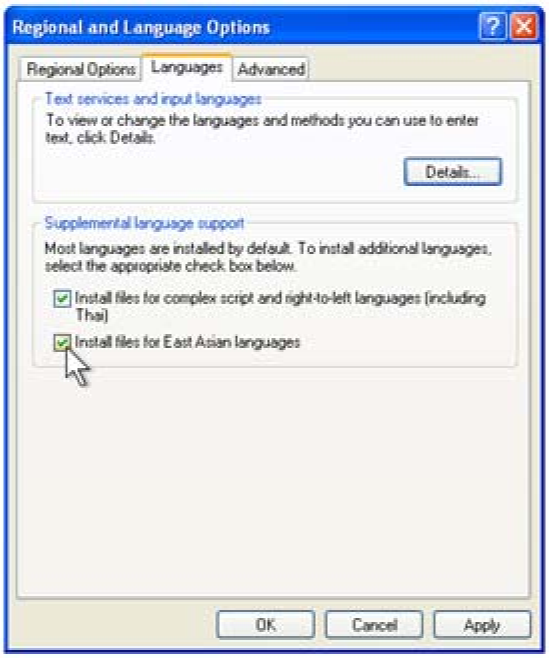
オペレーティングシステムの初期設定はおよそ5本かかり、別のタッチコンピュータのハードウェアやオペレーティングシステム構成にはさらに時間が必要です。これらのステップを実行するには、外付けマウスやキーボードをコンピュータモジュールのコネクターパネルにつなぐ必要があります。

Windows 7あるいはコンピュータモジュールのXP OSをセットアップするには、タッチコンピュータをオンにしてスクリーンの指示に従ってください。

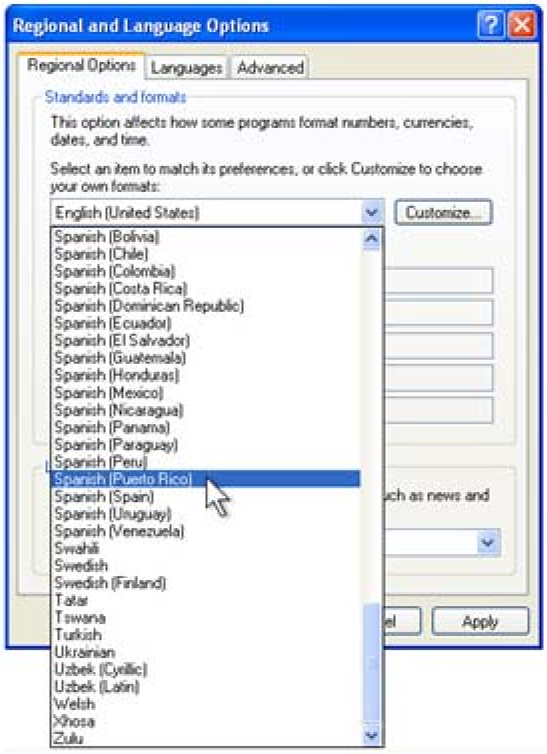
言語の選択

Windowsはメニューやダイアログボックスのデフォルト言語として英語を使用していますが、お好みに合わせてこの言語を変更できます。

Customize（ユーザー定義）をクリックすると、「Regional and Language Options（地域と言語オプション）」ウィンドウが表示されます。Languages（言語）タブを選択して、必要な場合は「Install files for complex script and right-to-left languages（複合文字や右から左方向へ書く言語のファイルをインストールする）」と「Install files for East Asian languages（東アジア言語のファイルをインストールする）」のボックスをチェックしてください。



「Regional Options (地域オプション)」タブを選択し、「Standards and Formats (標準と形式)」枠のドロップダウンリストからお好みの言語を選択します。



「Locations (場所)」枠のドロップダウンリストから場所を選択します。 Apply (適用) をクリックしてOKをクリックします。

コンピュータ名の選択 (Windows 7 セットアップのみ)

コンピュータの名前を入力するように指示があります。

Windows Update設定の選択（Windows 7セットアップのみ）

Windows Update設定を選択するように指示があります。

時間帯の選択

次のウィンドウが表示されたら、コンピュータモジュールの時間帯、日付、時間を変更できます。変更を終えたら、Next（次へ）をクリックして終了します。Windows SetupによってOSインストールを完了します。

Windows XPのタッチスクリーン技術ソフトウェアドライバをEloコンピュータモジュールにインストール

次の場合、Elo Touch Solutionsのウェブサイトwww.elotouch.comをご覧ください。

- タッチドライバの最新版
- タッチドライバの追加情報
- タッチドライバのインストール詳細ガイド
- 別のオペレーティングシステムのタッチドライバ

コンピュータモジュールはAPRやIntelliTouch技術に必要なドライバを装備しているのでインストールの必要はありません。

Windows 7のタッチスクリーン技術ソフトウェアドライバをEloコンピュータモジュールにインストール

次の場合、Elo Touch Solutionsのウェブサイトwww.elotouch.comをご覧ください。

- タッチドライバの最新版
- タッチドライバの追加情報
- タッチドライバのインストール詳細ガイド
- 別のオペレーティングシステムのタッチドライバ

コンピュータモジュールは必要なドライバを装備しているのでAPRやIntelliTouchモニターはインストールの必要はありません。

IntelliTouch Plusモニターにはインストールが必要です。Elo Touch Solutionsウェブサイトwww.elotouch.comからWindows 7マルチタッチドライバをダウンロードしてインストールしてください。

オペレーティングシステムのセットアップ – OSなし

ご希望のオペレーティングシステムをコンピュータにロードします。最も簡単な方法はおそらく、コンピュータモジュールに接続されているUSB外付けDVD-ROMドライブに画像かリカバリーディスクを使用することでしょう。

オペレーティングシステムがドライバを新しいUSBドライブ（Eloタッチスクリーン）にロードする場合は、キャンセルします。

タッチスクリーン技術ソフトウェアドライバ（OSなし）をEloコンピュータモジュールにインストール

次の場合、Elo Touch Solutionsのウェブサイトwww.elotouch.comをご覧ください。

- タッチドライバの最新版
- タッチドライバの追加情報
- タッチドライバのインストール詳細ガイド
- 別のオペレーティングシステムのタッチドライバ

Elo Touch Solutionsウェブサイト www.elotouch.com から必要なタッチドライバをダウンロードしてインストールしてください。詳細は第3章を参照してください。

第5章 – 取り付け

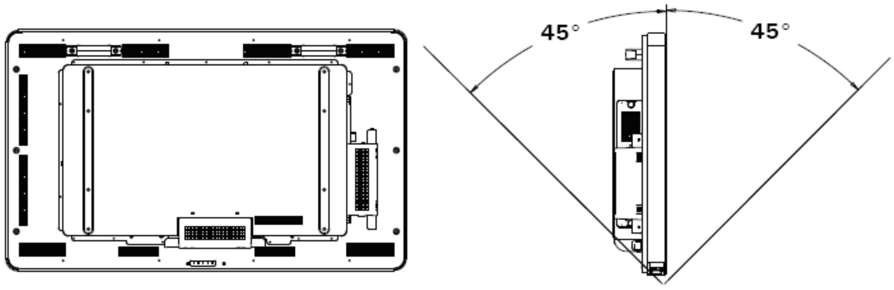
注記 : 健康や安全のために、タッチモニターを持ち上げたり移動する際には少なくても2名以上で取り行うように強くお勧めします。扱いやすくするために装置の裏面に取っ手がありますので、ご利用ください。

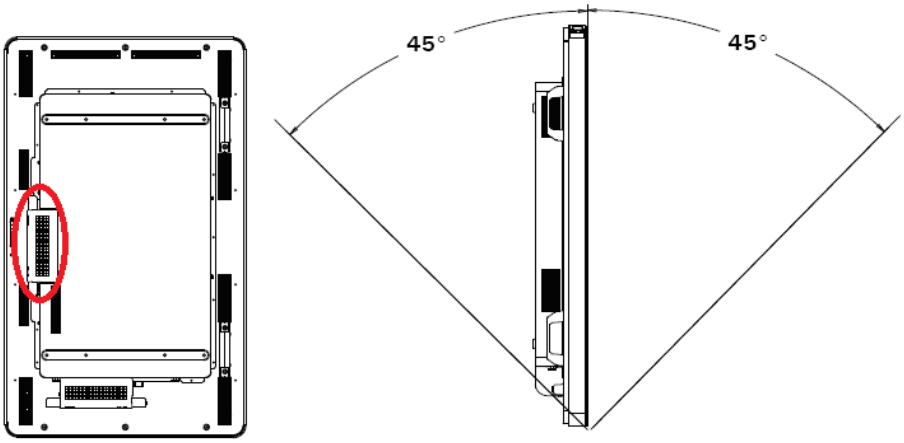
注記 :（取り付けブラケットやスタンドを取り付けるために）表示面を下にして置くときは、表示面のガラスを引っかいたり傷つけないように保護してください。表示面をザラザラした面に置かないようにするか、膜やフォームで表示面を保護してから実施してください。

取り付け一般情報

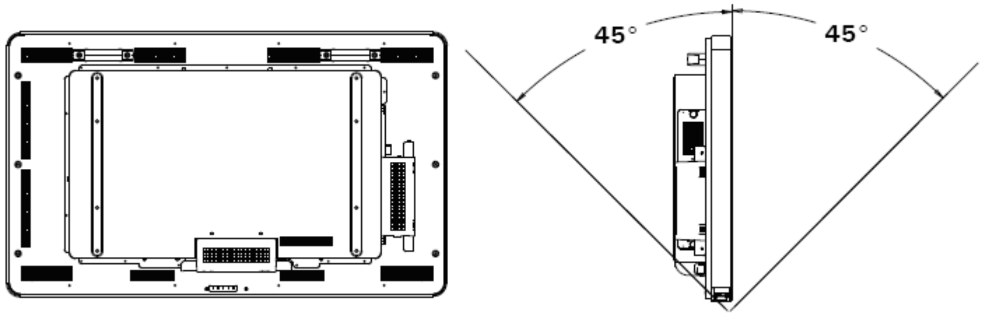
横方向と縦方向の二つの取り付け方向が制限傾斜範囲付きで対応します。

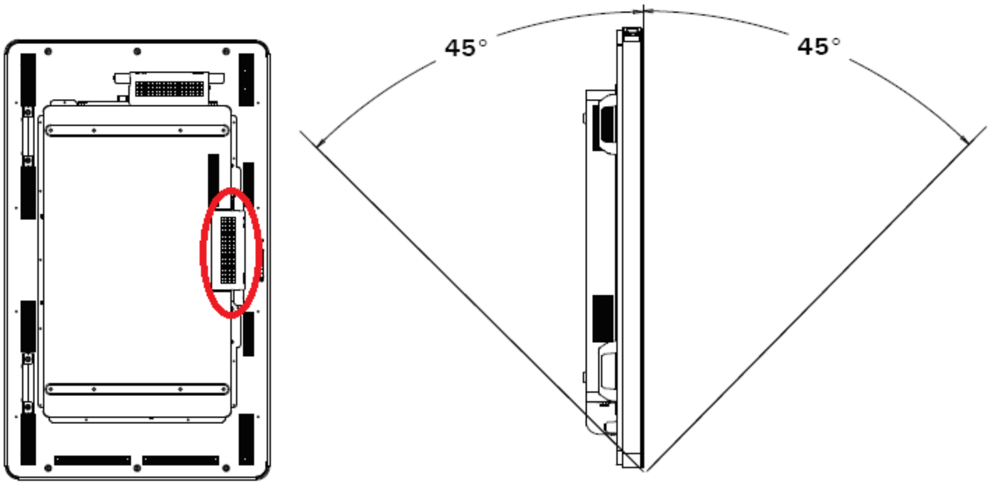
3200L / 4200L / 4600L：





5500L：





背面ベースマウント

32型モデルの場合：

モニターの背面に4穴、400x200mmの取り付けパターンがあります。

VESA FDMI規格対応の取り付けコード：VESA MIS-F、400X200、Y、6、90

42型、46型、55型モデルの場合：

モニターの背面に8穴、600x400mmの取り付けパターンがあります。

VESA FDMI規格対応の取り付けコード：VESA MIS-F、600X400、Y、6、90

寸法図面については、www.elotouch.comを参照してください。

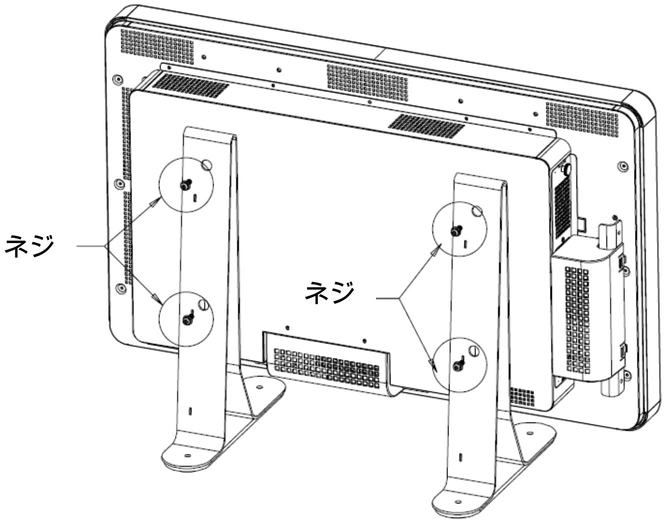
任意のスタンド

任意のスタンドをインストールする場合：

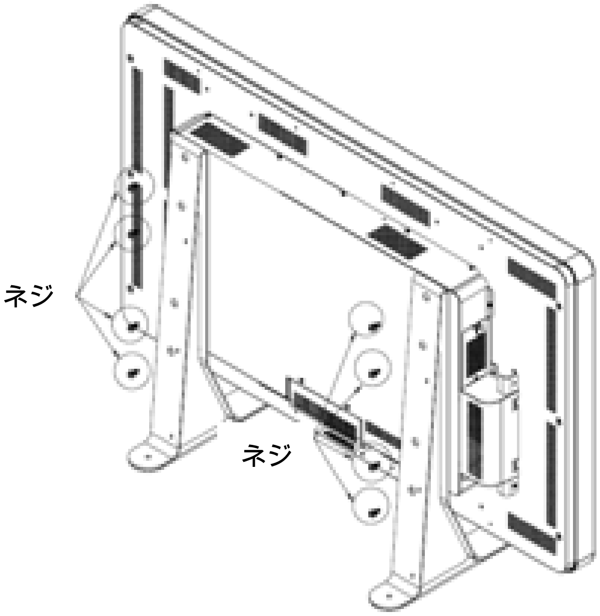
モニターの表示面を下にしてテーブルの端と表示面の底部端を合わせてテーブルに置きます。

付属のネジを全部使って任意スタンドの「脚」2本を取り付けます。

3200L



4200L / 4600L / 5500L



第6章 – 操作

電源

タッチモニターをオン/オフにするには、タッチモニターの電源ボタンを一度押してください。

コンピュータモジュールの電源をオンにするには、タッチモニターの電源ボタンを1度押してください。
コンピュータモジュールやタッチモニターの電源をオフにするには、タッチモニターの電源ボタンを4秒間押し続けるか、コンピュータモジュールのオペレーティングシステムの電源をオフにする手順に従ってください。

電源表示盤LEDは以下の表に従って機能します。

TouchMonitor/コンピュータモジュールのステータス	LED ステータス
OFF（オフ）	OFF（オフ）
SLEEP（スリープ）	BLINKING（点滅）
ON（オン）	ON（オン）

装置がSLEEP（スリープ）やOFF（オフ）モードのときは電力消費量が低くなります。電力消費の仕様詳細に関しては、 Elo ウェブサイトwww.elotouch.com の技術仕様を参照してください。

スクリーンをタッチすると、装置がSLEEP（スリープ）モードから切り替わります（マウスを移動したり、キーボードのキーを押したりしたときと同様に）。

信頼性を改善したり無駄な電源消費量を減らすには、長い間使用しないことが分かっているときにAC電源ケーブルを外すようにしてください。

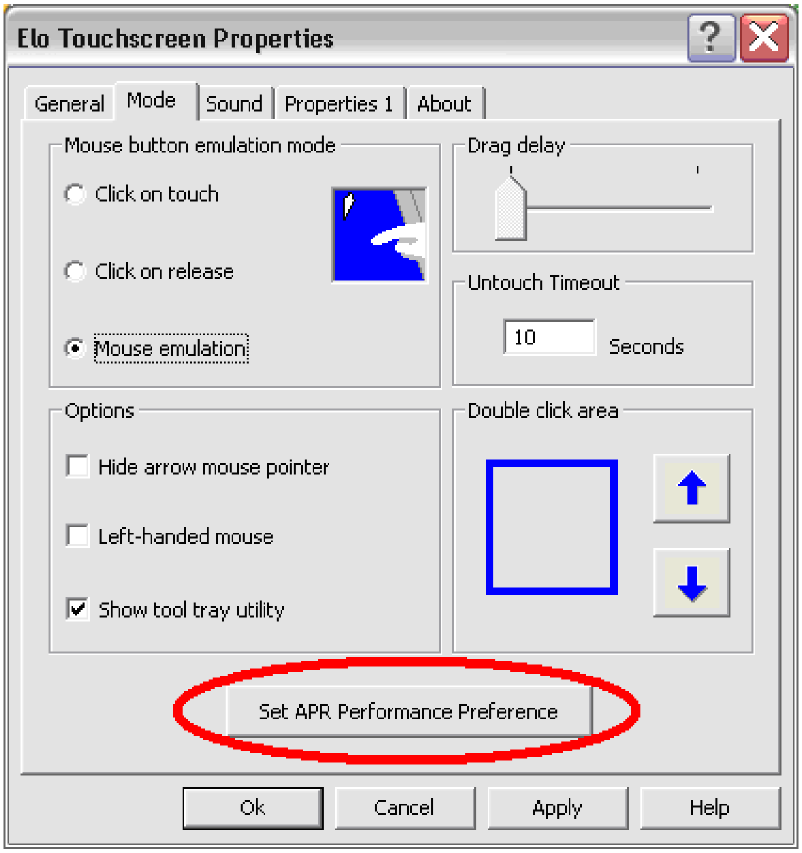
APRタッチスクリーン技術

タッチモニターの多機能はAPRタッチモニターでは対応していません。

APRフルタッチ機能の場合は、入力ビデオ画像を表示のネイティブ解像度に合わせてフルに縮小拡大します。

APRタッチモニターは工場出荷時にキャリブレーションされていますので、手動較正の必要はありません。

APR性能はアプリケーションに合わせてカスタマイズできます。Elo APRドライバのコントロールパネルのMode（モード）タブから「Set APR Preference（APR環境設定）」ウィンドウにアクセスします。



アプリケーションに最も適した使用タイプを選んでApply（適用）を押します。

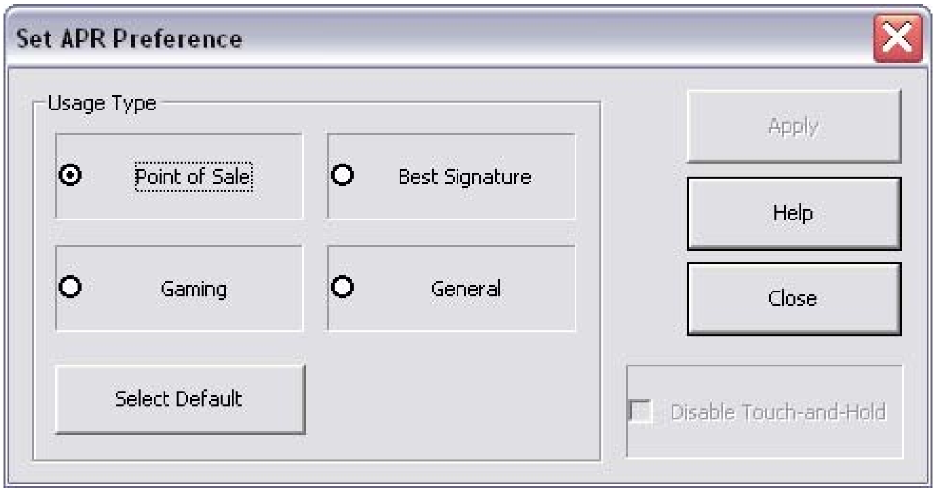
General（一般）: 特に最適化なし（初期設定）

Best Signature（ベストシグネチャ）: 署名キャプチャのアプリケーション用に最適化されたAPRパフォーマンス

Point of Sale（販売時点管理）: POSアプリケーション用に最適化されたAPRパフォー

マンス

Gaming（ゲーム）: ゲームアプリケーション用に最適化されたAPRパフォーマンス



IntelliTouchタッチスクリーン技術

IntelliTouchタッチスクリーンは必要な場合は、Eloドライバコントロールパネルの較正機能を通して表示のビデオ画像に合わせて再較正できます。

光学タッチスクリーン技術

Windows 7コンピュータに接続の場合、タッチモニターは4点同時タッチに反応します。
Windows XPコンピュータに接続の場合、タッチモニターはシングルタッチに反応します。

この技術はWindows HIDドライバ以外の追加ドライバは必要ありません。
この技術には較正は必要ありません。

ビデオ

LCD パネルのネイティブ解像度はその幅と高さがピクセル数で測定されます。

コンピュータの出力解像度が LCD パネルのネイティブ解像度に一致する場合に、LCD モニターに表示の画像が最高の状態でご覧いただけます。タッチモニターのネイティブ解像度については、Elo ウェブサイト www.elotouch.com の表示仕様をご覧ください。他の解像度で作動するとビデオ性能が低下します。

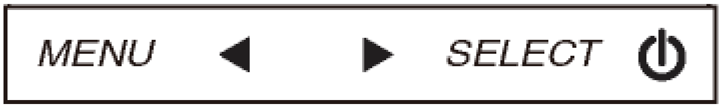
ネイティブ解像度以外の解像度で出力するコンピュータの場合、モニターはパネルのネイティブ解像度に画像を縮小拡大します。入力ビデオ解像度が小さい場合は入力画像を X 軸や Y 軸に「引き伸ば」してパネルに適合させます。入力ビデオ解像度が大きい場合は入力画像を X 軸や Y 軸に「圧縮」してパネルに適合させます。縮小拡大アルゴリズムの必至副産物は、コンピューターのビデオ画像を表示に合わせてモニターが縮小拡大したときに忠実性を失うことです。この忠実性の喪失は近距離で機能豊富な画像を閲覧するときに最も如実に現われます(例えば、フォントが小さな文字を含む画像など)。

APRタッチ機能が完全に機能するには、入力ビデオ画像が表示のネイティブ解像度に完全に縮小拡大させます。

お求めのタッチスクリーンはビデオ調整を必要とする可能性はあまりありませんが、アナログVGAビデオの場合、ビデオグラフィックカードの出力変化に対応するには、ユーザーがOSDを通して調整してタッチモニターの表示画像の質を最適化する必要があります。これらの調整はタッチモニターに「保存」されます。また、さまざまなビデオモードのタイミングを調整する必要性を減らすために、モニターがビデオ業界で最も一般的なビデオタイミングのモードに正しく縮小拡大して表示されます。

オンスクリーンディスプレイ（OSD）

モニター背面にはさまざまな表示パラメターを調整するためにOSDボタンが4個あります。任意のOSDコントロールボックスには同じボタンがあり、タッチモニターのコネクターパネルのPS/2コネクターに接続できます。



ボタンとその機能は以下の表の通りです。

ボタン	OSDが表示されていないときの機能：	OSDが表示されているときの機能：
Menu（メニュー）	OSDの主要メニューを表示	前のOSD メニューに戻る
◀	OSD表示色/輝度サブメニューを表示する	選択したパラメター値を増やす/前のメニュー項目を選択する
▶	OSDオーディオサブメニューを表示する	選択したパラメター値を減らす/次のメニュー項目を選択する
Select（選択）	ビデオ源サブメニューを表示する	調整パラメターを選択する/サブメニューを選択して入力する

OSDボタンを使って入力ビデオの上に表示するオンスクリーンのグラフィカル･ユーザー･インターフェースを制御し、以下の表示パラメターの直感的調整が可能になります。

パラメター	利用可能調整
Brightness（輝度）	モニターの輝度を増減する。 初期設定：最大
Contrast（コントラスト）	モニターのコントラストを増減する。
Clock（クロック）	パネルのピクセルドットクロックの微調整をする。 *HDMIビデオあるいはコンピュータモジュールを使用する場合は該当しない。* *調整し過ぎるとAPR機能に悪影響する。*
Phase（位相）	パネルのピクセルドットクロック位相の微調整をする。 *HDMIビデオあるいはコンピュータモジュールを使用する場合は該当しない。* *調整し過ぎるとAPR機能に悪影響する。*

Auto Adjust（自動調整）	入力アナログVGAビデオシグナルにシステムクロックを自動的に調整し、水平位置、垂直位置、クロック、位相メニュー項目に影響を及ぼす。 *HDMIビデオあるいはコンピュータモジュールを使用する場合は該当しない。* *調整し過ぎるとAPR機能に悪影響する。*
H-position（水平位置）	1ピクセルごとに画像を表示部の水平に移動する。 初期設定：中心 *HDMIビデオあるいはコンピュータモジュールを使用する場合は該当しない。* *調整し過ぎるとAPR機能に悪影響する。*
V-position（垂直位置）	1ピクセルごとに画像を表示部の垂直に移動する。 初期設定：中心 *HDMIビデオあるいはコンピュータモジュールを使用する場合は該当しない。* *調整し過ぎるとAPR機能に悪影響する。*
Maintain Aspect Ratio（アスペクト比維持）	スケーリング方法を実物大とアスペクト比の維持に切り替える。 初期設定：実物大 実物大 – 入力ビデオのX寸法とY寸法を（必要に応じて上下して）表示のネイティブ解像度に縮小拡大する。 縦横比維持 – 横方向と入力ビデオのアスペクト比が 16:9より小さいものと仮定し、入力ビデオのY寸法を（必要に応じて上下して）表示のY解像度にスケールし、X寸法をスケールして入力ビデオのアスペクト比を維持する（左右のブラックバーで残りの表示部を均等に埋める）。 *注記：APRタッチがフルに機能するには、この設定を「Full Scaling（フルスケール）」にする。*
Sharpness（鮮明さ）	表示画像の鮮明さを調整する。 初期設定：鮮明さ調整なし
Color Temperature（色温度）	表示の色温度を選択する。利用可能の色温度は9300K、7500K、6500K、5500K、およびユーザー定義。ユーザー定義のオプションが選択されたら、スケール0から100の個々のR/G/Bゲインを変更してユーザーが色温度を変更できる。 初期設定：R/G/Bゲインのユーザー定義をすべて100に設定する。
OSD Timeout（OSDタイムアウト）	この調整によって最後に押したボタンからOSDが閉じるまでのタッチモニターの待機時間を調整する。調整可能範囲は5 ～60秒。 初期設定：15

OSD Language（OSD言語）	OSD情報を表示する言語を選択する。選択言語：英語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、スペイン語、簡体字中国語、繁体字中国語、日本語。 初期設定：英語
Mounting（取り付け）	OSD文字を回転調整して取り付けの位置を一致する。 初期設定：横方向
OSD H-Position（OSD水平位置）	OSDの位置を表示部の左右に移動する。 初期設定：50 (中心)
OSD V-position（OSD垂直位置）	OSDの位置を表示部の上下に移動する。 初期設定：50 (中心)
Volume（音量）	内蔵スピーカーやヘッドホン出力の音量を調整する。
Mute（ミュート）	ミュートとミュート解除のオーディオ出力を切り替える。 初期設定：ミュート解除
Information（情報）	基本モニターの品番とシリアル番号を表示する。このメニューでは調整できない。
Recall Defaults（初期設定に戻る）	「Recall Defaults（初期設定に戻る）」を選択するとOSD調整可能パラメーター（OSD Language (OSD言語)とOSD Position (OSD位置)を除く）とプリセットビデオモードのタイミングを工場初期設定値に回復する。
Video Source（ビデオ源）	モニターはアクティブビデオをVGA、HDMI、コンピュータモジュールからスキャンし続ける。この調整によって表示に優先度が与えられる入力ポートを選択する。 コンピュータモジュールが接続していない場合のオプション：VGA優先度、HDMI優先度 初期設定：HDMI優先度 *コンピュータモジュールが接続している場合の表示可能ビデオ源はコンピュータモジュールだけで、この調整は利用できない。*

Audio Source（音源）	モニターのスピーカーやヘッドホン出力で聞く音源を選択する。 コンピュータモジュールが接続していないビデオ源がHDMIの場合のオプション：ラインイン端子、HDMI 初期設定：ラインイン端子 コンピュータモジュールが接続していないビデオ源がVGAの場合のオプション：ラインイン端子 コンピュータモジュールが接続している（よって、入力ビデオはコンピュータモジュールHDMI）場合のオプション：Eloコンピュータモジュール HDMI、Eloコンピュータモジュールラインイン端子、ラインイン端子 初期設定：EloコンピュータモジュールHDMI
ECM MDC	IDS+ECMコンピュータモジュールのマルチシステムがMDC機能のデージーチェーンでつながっている状況の場合、このオプションはシステムがマスターか、デージーチェーンのスレーブのひとつかのどちらかを選択する。 オプション：マスター、スレーブ 初期設定：マスター *注記：このオプションはECMコンピュータモジュールが接続しているときだけ使用可能。*

OSDを通して調整したすべてのタッチモニターは入力したらすぐに自動的に記憶される。この機能によって、タッチモニターのプラグを外したり、電源をオン/オフにするたびにリセットする必要がなくなる。電源異常があっても、タッチモニターの設定は工場仕様に初期設定されません。

OSDおよび電源ロックアウト

「Menu（メニュー）」と「Up（上へ）」ボタンを2秒間同時に押し続けると、OSDロック機能が有効/無効になります。OSDロックが有効化されると、Menu（メニュー）、Up（上へ）、Down（下へ）あるいはSelect（選択）キーを押してもシステムに何の影響もありません。

「Menu（メニュー）」と「Down（下へ）」ボタンを2秒間同時に押し続けると、パワーロック機能が有効/無効になります。パワーロックが有効化されると、電源スイッチを押し続けてもシステムに何の影響もありません。

オーディオ

タッチモニターのライン入力端子、タッチモニターHDMI、コンピュータモジュールのライン入力端子、あるいはコンピュータモジュールHDMIポートのオーディオはタッチモニターの内臓スピーカーで再生できます。詳細は「音源」OSDパラメターを参照してください。ヘッドホンがヘッドホンの出力ジャックに接続している場合、内蔵スピーカーはオフになり、オーディオはヘッドホンから再生されます。

スピーカーの音量とミューティング、ヘッドホンの出御クはOSDで制御します。

第7章 – 技術サポート

タッチモニターの不具合がある場合、以下の提案を参照してください。
不具合が直らない場合は、最寄のディーラーか、Elo Touch Systems カスタマーサービスまでご連絡ください。

よくある問題の解決方法

問題	提案トラブルシューティング
システムを作動させてもタッチモニタ - が起動しない	AC電源ケーブルが正しく接続しているか確認してください。AC電源が機能しているか確認してください。
システムをオンにしてもコンピュータモジュールが反応しない	AC電源ケーブルを切断し、コンピュータモジュールが正しくインストールされているか確認してください。AC電源ケーブルを再度接続してください。
モニターの文字がぼやけて見える	OSDを使って輝度を増やしてください。OSDを使ってコントラストを増やしてください。
モニターが空白状態になる	電源表示盤LEDが点滅していれば、モニターかコンピュータモジュールがスリープモードです。キーを押したりマウスを動かしたりタッチスクリーンにタッチして画像が表示されるか確認してください。
モニターに「許容範囲外」が表示される	コンピューターの解像度/タイミングを調整して、Eloウェブサイトwww.elotouch.comに表示のタッチモニターの許容範囲内になるように設定してください
タッチの機能が作動しない	コンピューターあるいはEloコンピュータモジュールに最新のドライバがインストールされているか確認してください。詳細はセットアップの章を参照してください。

技術サポート

オンラインのセルフヘルプについては、www.elotouch.com/go/websupport をご覧ください。
技術サポートについては、www.elotouch.com/go/contactsupport をご覧ください。
世界中の技術サポートに関する電話番号については、本ユーザーマニュアルの最後のページをご覧ください。

Windows OS コンピュータモジュールの技術支援はシステムプロパティメニューのサポート情報欄で

ご覧いただけます。システムプロパティメニューは次の方法でアクセスできます。

1. My Computer（マイコンピュータ）アイコンを右クリックしてドロップダウンメニューからプロパティを選択します。

2. Start(スタート)ボタンをクリックして、 Settings(設定） -> コントロールパネル(Control Panel）メニューに行き、システムアイコンを選択します。

第8章 –

安全 & 保守

安全

感電の危険を避けるため、以下の安全上の注意事項に従ってください。また、タッチモニターあるいはコンピュータモジュールはユーザーが修理できるものではありませんので分解しないでください。

タッチモニターのケースの側面と上部にあるスロットは通気孔ですので、絶対に塞いだり物を挿入したりしないでください。

タッチモニターは 3 芯式接地電源コードを装備しており、電源コードのプラグはアース付きコンセントのみに対応します。この目的で構成されていないコンセントにプラグを接続したり変更したりしないでください。破損した電源コードは使用しないでください。タッチモニターに付いて来る電源コードだけを使用してください。許可のない電源コードを使用すると、保証を無効にする場合があります。

インストールの際には Elo Touch Solutions ウェブサイト www.elotouch.com の装置の仕様書に記載の特定環境条件を維持するように実行してください。

輸送/保存の環境条件

温度：

作動	0°C ~ 35°C
保存/運送	-20°C ~ 60°C

湿度（結露なし）:

作動	20% ~ 80%
保存/運送	10% ~ 90%

高度：

	作動	0 ～ 3,000m
	保存/運送	0 ～ 12,192m

注意

指定以外のバッテリーと交換すると爆発の危険がありますので、ご注意ください。使用済みのバッテリーは説明書に従って処分してください。

お手入れ/お取り扱い

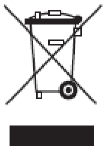
タッチモニターが最適レベルで機能するように以下の点に従ってください。

- クリーニングの前に AC 電源ケーブルを外してください。
- 表示ユニットのキャビネットをクリーニングする際には、中性洗剤で軽く湿らせた布を利用してください。
- 液体がタッチモニターの内側に入ったり上面にかかったりしない、十分に注意してください。液体が内側に入ってしまった場合は、資格があるサービス技術者に点検してもらってからもう一度電源を入れてください。
- スクリーンの表面を傷つけることがあるので、布やスポンジで拭かないでください。
- タッチスクリーンをクリーニングする際は、窓ガラス用洗剤かガラス磨きスプレーをきれいな布やスポンジにつけて使用してください。絶対に、洗剤を直接タッチスクリーンにスプレーしないでください。アルコール(メチル、エチル、イソプロピル)、シンナー、ベンジン、研磨剤などを使用しないでください。

水銀に関する警告

3200L、4200L、4600L 製品は水銀を含む蛍光灯を使っていますので、地域、地方、国法に準じて再利用、あるいは廃棄してください。

電気装置および電子装置の破棄（WEEE）指令



欧州連合では本ラベルは「本製品は家庭廃棄物として処理してはならない」という意味です。修理やリサイクルのために適切な施設で処理してください。

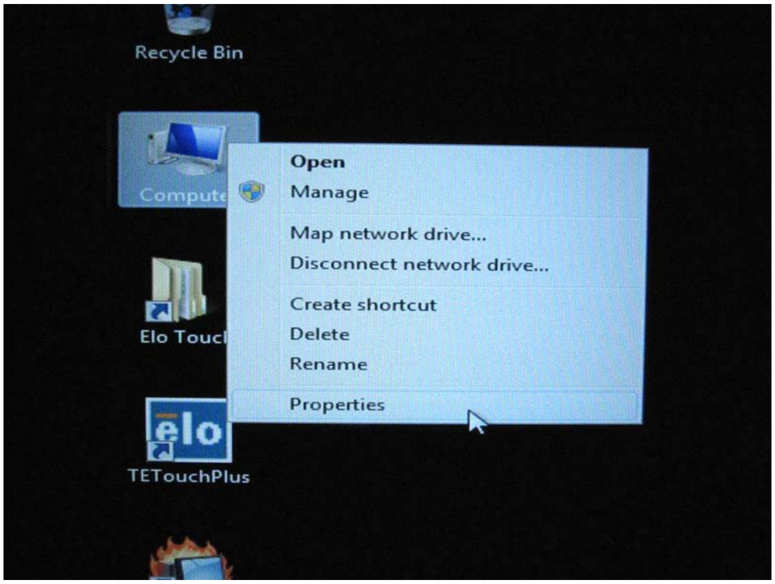
オペレーティングシステムのリカバリー - Windows 7 および Windows XP

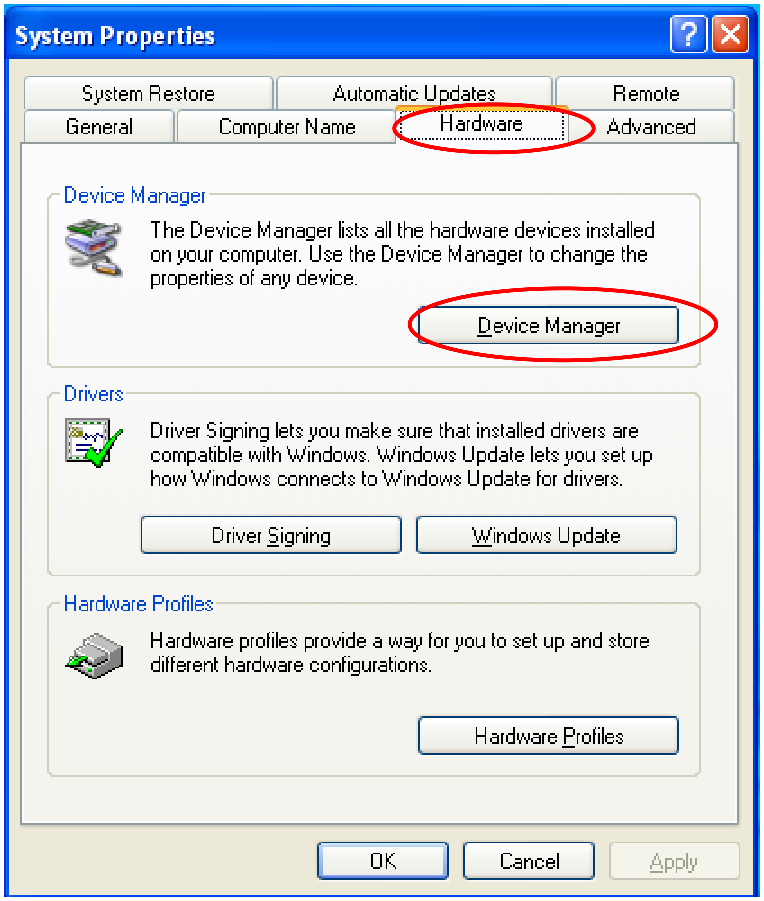
何らかの理由でコンピュータモジュールのオペレーティングシステムやソフトウエアのリカバリが必要な場合は 34 ページに記載の Elo Touch Solutions に連絡してください。

注記：リカバリープロセスですべてのデータは削除されます。データやソフトウエアのバックアップやアーカーブはユーザーの責任です。Elo Touch Solutionsは失われたデータやソフトウエアの責任は負いかねます。

注記：エンドユーザーは Microsoft Windows使用許諾書を必ず順守しなければなりません。

- <u>リカバリー後の USB シリアルポート</u>の再割り当て指示
  1. POSReady 2009 の場合、「Computer (コンピュータ)」を右クリックして → 「Properties (プロパティ)」 → 「Hardware (ハードウエア)」 → 「Device Manager (デバイスマネージャ)」の順でクリックします。
     Windows 7 の場合、「Computer (コンピュータ)」を右クリックして → Click 「Properties (プロパティ)」 → 「Device Manager (デバイスマネージャ)」の順でクリックします。

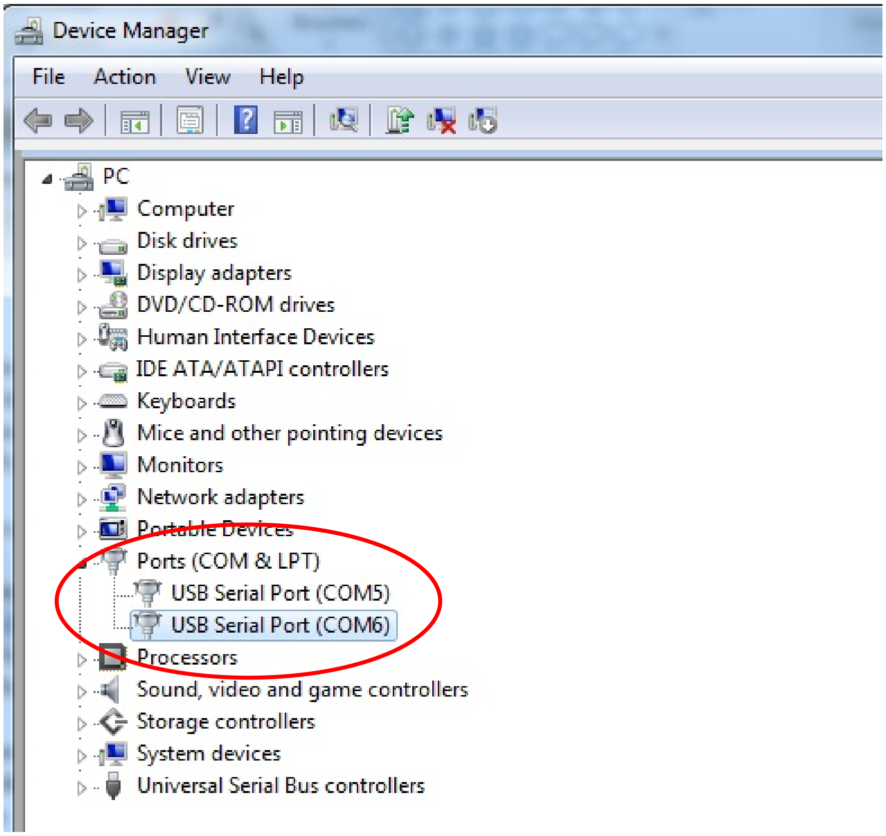




2. 「Ports (COM & LPT)」をダブルクリックして、「USB Serial Port (USB シリアルポート)」設定が以下の表と同じか確認してください。

詳細	位置
USB シリアルポート（ COM3 ）	USB シリアルコンバーターA 上
USB シリアルポート（ COM4 ）	USB シリアルコンバーターB 上

3. 以下の状況の場合は、オペレーティングシステムがこれらのシリアルポートを再割り当てしたことを意味します。手動で訂正する必要があります。



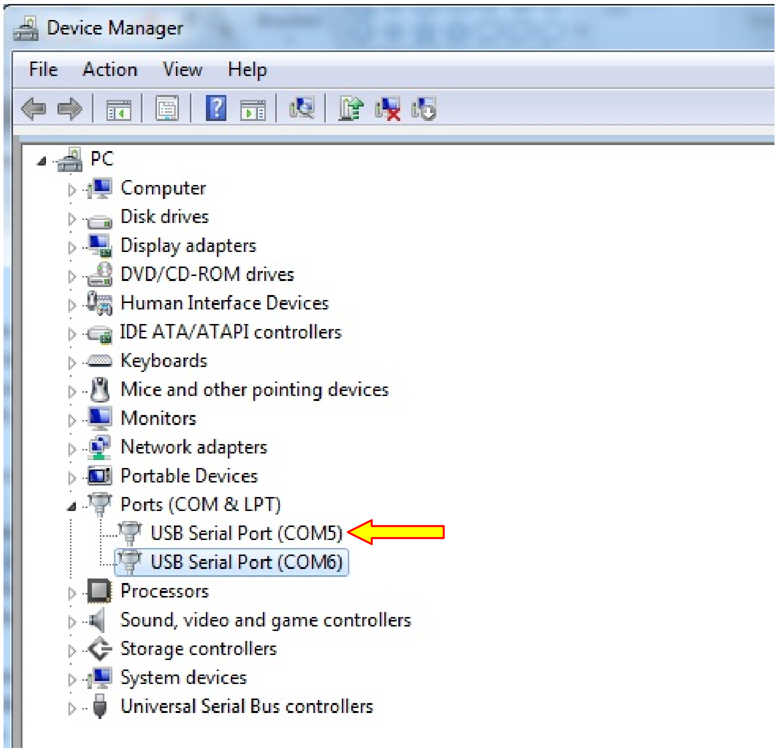
通常､オペレーティングシステムがこれらのシリアルポートを再割り当てしても､まだ正常です。この場合、次の表に従って変更してください。

変更前	変更後
USB シリアルポート（COM5）	USB シリアルポート（COM3）
USB シリアルポート（COM6）	USB シリアルポート（COM4）

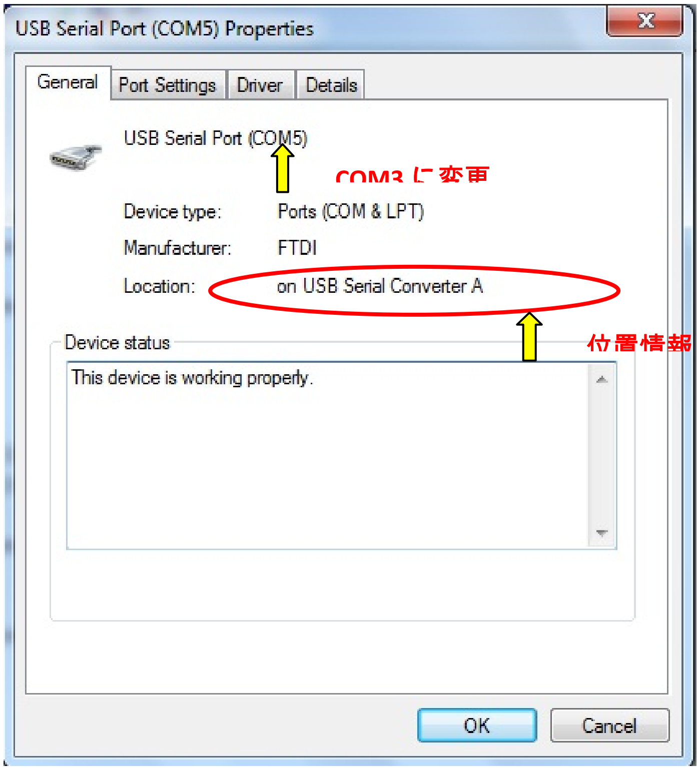
よって、USB シリアルポートの設定は **COM3** で始まり、**COM4** の順に終わります。

4. 訂正するには、次の指示に従ってください。

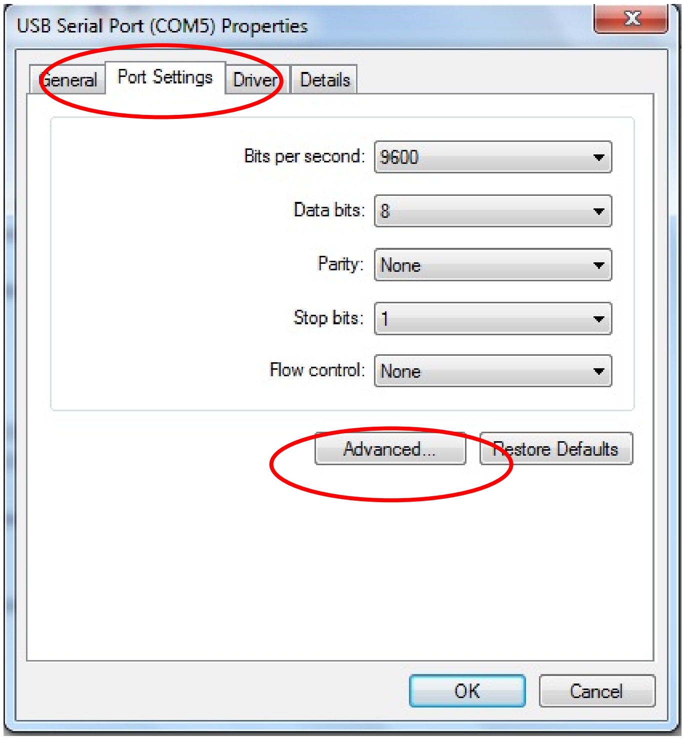
変更しなければならないポートをダブルクリックします。この場合、変更するポートは **COM5** です。



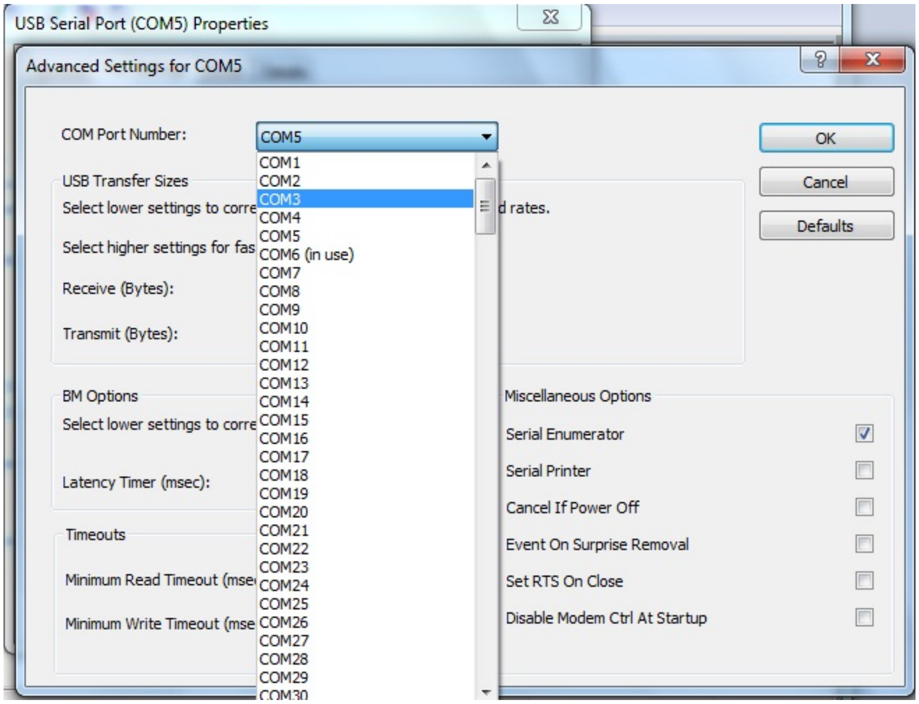
COM5 は USB シリアルポートの第 1 ポートですので、「**Location**（場所）:」は「**USB シリアルコンバーターA 上**」になります。このシリアルポートを **COM3** に割り当てます（**USB シリアルコンバーターB** には **COM4**）。



「**Port Settings**（ポート設定）」を選択して → 「**Advanced…**」をクリックします。



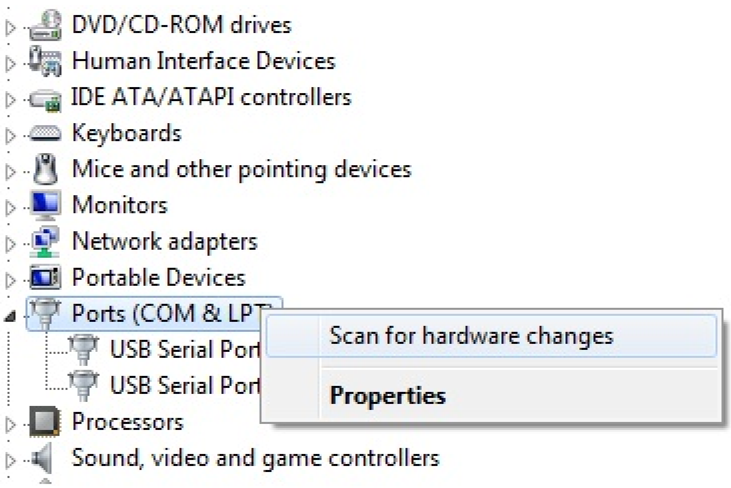
この場合、ドロップダウンメニューから **COM3** を選択し → **OK** をクリックし → **Device Manager**（デバイスマネージャ）に戻って **OK** をクリックします。



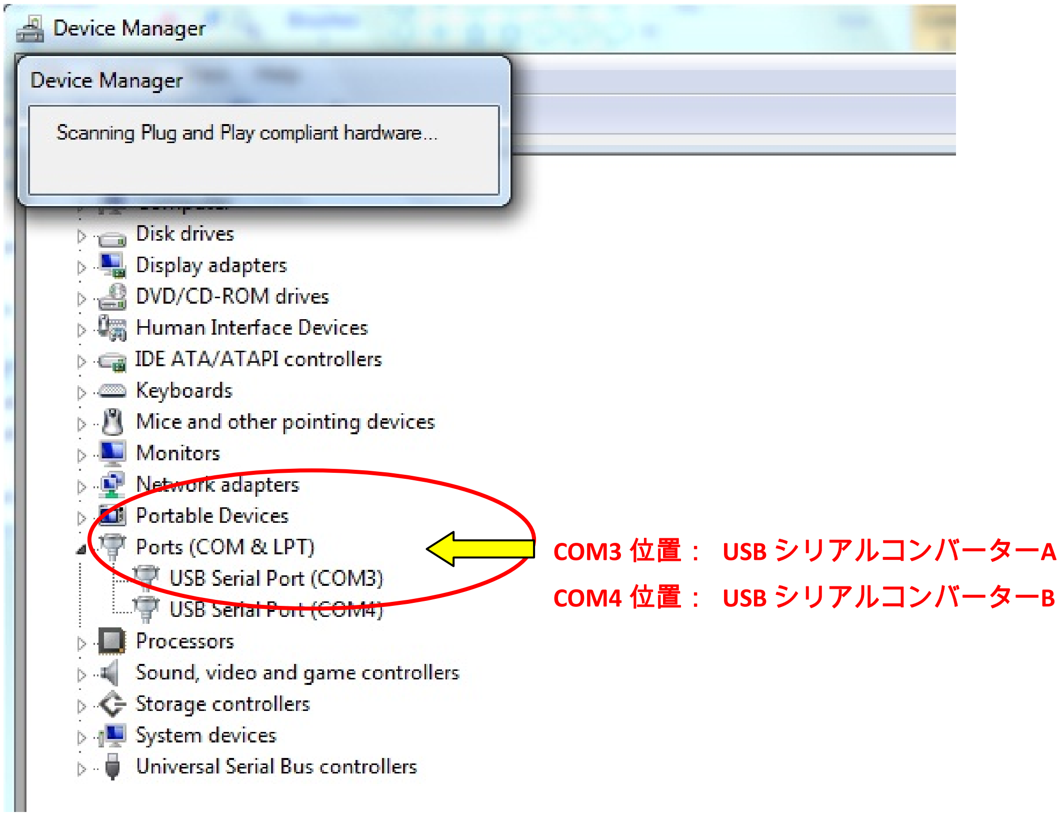
同じステップに従って、別のポートの設定を実行してください。

終了したら、「**Ports (COM & LPT)**」を右クリックして、 **Scan for hardware**

changes（ハードウエアの変更をスキャン）をクリックします。



5. 結果は以下の図表と同じになるはずです。



第9章 – 規制情報

I. 電気安全情報：

メーカーのラベルに記載の電圧、周波数、電流などの要件を必ず順守してください。規定の電源と異なったものを接続するなど要件に従わない場合、不適切な稼動、装置への損傷、火災の原因を招く恐れがあります。

本装置内にはユーザーが修理できる部品はありません。本装置が生じる危険電圧があり、安全上の問題を招く恐れがあります。修理は資格があるサービス技術者のみが行ってください。

装置を主電源に接続する前のインストールについてご質問がある場合は、資格のある電気技師またはメーカーにお問合せください。

II. 放射および電磁波耐性情報

米国内のユーザーに対する通知：本装置は FCC 規則第 15 章に定められたクラス A デジタル装置に関する規制要件に基づいて所定の試験が実施され、これに適合するものと認定されています。これらの規則要件は、住宅で設置した場合に有害な妨害から妥当に保護するためのものです。指示に従って本装置を取り付け、使用しなかった場合、電磁波を発生･使用し、外部に放射することがあり、無線通信に有害な混信を招く恐れがあります。

カナダのユーザーに対する通知：本装置はカナダの業界によって無線妨害規制で定められたデジタル装置から放出される電波雑音に関するクラス A に適合しています。

欧州連合のユーザーに対する通知：装置に付属の電源コードと相互接続ケーブルだけを使用してください。規定のコードやケーブル以外を使用すると下記の規格規定の電気安全、放出あるいは電磁波耐性に関する認証マークを損なう可能性があります。

この情報技術機器（ITE）にはメーカーのラベルに認証マークを貼付するように義務付けられており、このマークは下記の指示および基準に従って検査されたことを意味します。本装置は欧州規格 EN 55022 クラス A の EMC 指令 89/336/EC、および欧州規格 EN 60950 に記載の低電圧指令 73/23/EC の要件に従って検査されました。

すべてのユーザーに対する一般情報：本装置は無線周波数エネルギーを発生･使用し、外部に放射することがあります。本書に従って本装置を取り付けしたり利用しなかった場合は、無線通信およびテレビ通信の電波妨害を引き起こす可能性がありますが、場所によって妨害の原因が異なるため、特定の場所によっては妨害が起きないという保証はありません。

1) 放射および電磁波耐性の要件に見合うため、ユーザーは下記事項を順守してください。

a) 本デジタル装置と他のコンピューターを接続する場合は、付属の I/O ケーブルのみを使用してください。

b) 要件を順守するために、メーカー指定のラインコードのみを使用してください。

c) 要件順守の責任がある当事者によって明確に承認されていない装置を変更･修正すると、ユーザーは装置の操作権利を失う場合がありますのでご注意ください

2) 本装置が無線あるいはテレビ受信､あるいはその他の装置の受信妨害を引き起こす原因であると思われる場合：

a) 装置の電源をオフ/オンにして放射元を確認してください。

本装置が妨害元であると確認される場合は、下記のいずれかの方法で妨害しないように修正してください。

i) 妨害を受けたレシーバーからデジタル装置を離す。

ii) 妨害を受けたレシーバーに対してデジタル装置を再配置（向きを変える）する。

iii) 妨害を受けたレシーバーのアンテナを再配置する。

iv) デジタル装置とレシーバーの分岐回路が異なるようにデジタル装置を違う AC コンセントに差し込む。

v) デジタル装置が使用しない一切の I/O ケーブルの接続を切って取り除く。(愁嘆処理していない I/O ケーブルは、電波周波数の放出レベルを増す可能性がある。)

vi) デジタル装置を接地コンセントのみに差し込む。AC アダプタープラグを使用しないこと。（接地したラインコードを取り外したり切ったりすると無線周波数の放出レベルを増加する可能性があり、ユーザーに致死的な感電の危険を及ぼす可能性もある。)

さらに援助が必要な場合は、ディーラー、メーカー、ベテランの無線あるいはテレビ技術者に相談してください。

III. 検定代行機関

以下の認証は本モニター用に発行されています。

アルゼンチン S マーク

オーストラリア C-Tick

カナダ CUL

カナダ IC

中国 CCC

中国 RoHS

欧州 CE

日本 VCCI

メキシコ NOM

ロシア& CIS GOST

米国 FCC

米国 UL

第10章 – 保証情報

特に指定のない限り、あるいは買い手に対する受注承諾がない限り、売り手は製品の材質や仕上がりに欠陥がないことを買い手に保証します。TouchMonitor、コンピュータモジュールなどの製品部品の保証は三（3）年間とします。

売り手はモデル部品の寿命についての保証はしません。売り手の供給者は、常時および時折、製品または部品として出荷した部品の変更を行うことがあります。

上記の保証に適合する製品の不具合が発見した場合、売り手は買い手に対して迅速に（どのような場合でも発見から三十（30）日以内に）書面にて通知しなければなりません。通知には、そのような不具合に関する状況など商用的に適度な詳細を記述しなければなりません。可能な場合は、売り手はインストールした製品の検査を行わなければなりません。売り手による書面の指示があった場合を除いて、通知はそのような製品の保証期間内に売り手が受領する必要があります。そのような通知を送付してから三十（30）日以内に、買い手は不良品であるとされている製品を受領時の出荷用ダンボール箱、あるいは機能的に同等のものに梱包して買い手の費用および危険で売り手宛に発送しなければなりません。

不良品であるとされている製品を受領してから、および売り手が上記の保証を製品が満たしていないという確認をしてから適度な期間内に、売り手は (i) 製品の修理あるいは変更、(ii) 製品の交換 のどちらかの方法によってそのような不良品を修正しなければなりません。製品のそのような変更、修理、交換、および返却する際には買い手に対して最低の保険を含み、費用は売り手側が支払うこととします。 製品発送中に起きる紛失あるいは損傷の危険は買い手が負い、買い手はその製品に保険をかけることができます。買い手は製品の返品にかかった郵送料を売り手から払い戻し請求できますが、売り手が不良品でないと判断した場合は払い戻し請求はできません。製品の変更、修理は売り手のオプションによって行い、売り手の施設か買い手の敷地のどちらかで行います。売り手が上記の保証に適合した製品の変更、修理、交換を提供できない場合は、売り手は売り手のオプションによって製品購入価格から買い手が提示する保証期間の定額減価償却を差し引いた額を買い手に払い戻しするか、買い手の口座に入金する必要があります。

これらの救済措置は保証不履行が起きた場合の買い手専用の救済措置とします。上記に明示されている保証を除いて、売り手は製品の目的適合性、品質、商品性、権利を侵害していないことなどの点を含む明示または暗示の保証を認めません。売り手の従業員、あるいはいかなる当事者も本書に記載の保証以外は商品の一切の保証をしてはなりません。保証に基づく売り手の負担は製品の購入価格を払い戻しすることに限定します。いかなる場合も売り手は買い手が購入、あるいは取り付けた代替品の価格、あるいは一切の特別な、誘発的、間接

的、偶発的な損傷などの責任は負いません。

買い手は危険を前提とし、(i) 買い手の製品の使用目的に対する適合性、一切のシステム設計あるいは製図の評価、(ii) 買い手が使用する製品の適用法、規制、規約、標準規格に対する順守の判断、などに関するすべての責任から補償しかつ無害に保つことを補償し同意します。買い手は、売り手が製造、供給した製品、部品を含むあるいは盛り込むすべての保証およびその他の請求に対するすべての責任を保持しかつ受理します。買い手は買い手が認可する製品に関する一切かつすべての言明事項、保証に対する唯一の責任を負います。買い手は売り手を補償し、買い手の製品、言明事項、保証に起因する一切の負債、請求、損失、価格、費用など（妥当な弁護士の料金を含む）同様のものに対して損害を売り手に与えません。

当社のウェブサイトをご確認ください。

www.elotouch.com

以下の最新情報をご覧ください。

- *製品別情報*
- *仕様*
- *次回イベントに関するニュース*
- *プレスリリース*
- *ソフトウェアドライバ*
- *TouchMonitor についてのニュースレター*

Elo 社へのお問い合わせ

Elo 社のタッチリユーションに関する詳細については、弊社のウェブサイト　www.elotouch.com をご覧いただくか、最寄のオフィスまでご連絡ください。

北米
Elo Touch Solutions
301 Constitution Drive
Menlo Park, CA 94025

電話 800-ELO-TOUCH
電話 800-557-1458
電話 650-361-4800
Fax 650-361-4722
customerservice@elotouch.com

ラテンアメリカ
電話 786-923-0251
Fax 305-931-0124
www.elotouch.com.ar

欧州
電話+32(0)(16)35-2100
Fax +32(0)(16)35-2101
elosales@elotouch.com

アジア太平洋
電話+81(45)478-2161
Fax +81(45)478-2180
www.tps.co.jp

Copyright 2012 Elo Touch Solutions, Inc. 無断複写・転載を禁じます。